リエゾン(災害対策現地情報連絡員)について
大規模な災害が発生したときに支援の窓口として職員を派遣します。

推進団(災害対策現地情報連絡員)には、

【目的】
東北地方整備局では、平成19年12月から各自治体に対して災害対策支援を実施するためには積極的な情報収集・提供が必要と考え、被災自治体災害対策本部に対して「現地情報連絡員」を派遣するリエゾン制度を創設しました。

リエゾン派遣は、岩手・宮城内陸地震(H20.6)、東日本大震災(H23.3)の際には発災・直後から被災自治体に行われ、情報収集、情報提供、TEC-FORCE災害対策機械(通信機械、排水ポンプ等)派遣調整のほか自治体ニーズを的確に把握し、災害対応に追われる自治体職員に代わって多様な支援機能を迅速に調整を実施しました。

※リエゾン(Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語)

東北地方整備局災害対策本部

【提供する情報】
東北地方整備局所管施設の被災状況、ヘリの調査飛行ルート・映像配信時間、TEC-FORCEの活動状況、災害対策機械派遣状況、災害復旧工事等の情報を提供します。

【収集したい情報】
市町村における被災状況、県・市道の通行止め、地域の孤惑化や避難勧告等の情報、自治体ニーズを収集します。

【リエゾン派遣にあたってのお願い】
1. リエゾンの派遣は2名程度です。
2. 派遣する場合は事前に連絡してください。
3. 派遣前にリエゾンの氏名・所属・到着予定時刻を連絡します。
4. リエゾンに機材は提供をお願いします。
5. 本部への報告のためプリンターやFAXをお貸し願います。

【問い合わせ先】
住所: 岩手県盛岡市上田4丁目2-2 電話:019-624-3131(代表)
岩手河川国道事務所 総括地域防災調整官 三ヶ田(内線206)
地域防災調整官 對馬(内線508)
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）について

国土交通省 水管理・国土保全局
TEC－FORCE（緊急災害対策派遣隊）の概要

TEC-FORCEとは
※TEC-FORCE（Technical Emergency Control FORCE）：緊急災害対策派遣隊
○大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施
○本省災害対策本部長の指揮命令のもと、全国の各地方整備局等の職員が活動
○国土交通省各組織の職員合計7,508名（平成27年5月1日現在）を予め任命し、状況に応じて派遣

活動内容

ヘリによる被災状況調査
市町村へのリエゾン派遣
被災状況の把握

【H25.9 台風第18号】
（京都府福知山市）

【H26.9 御嶽山の噴火】
（長野県王滝村）

【H25.8 山口島根豪雨】
（島根県江津市）

衛星通信による監視体制確保
自治体への技術的助言
排水ポンプ車による緊急排水
救命救護活動への技術的助言

【H25.10 台風第26号】
（東京都大島町）

【H26.11 長野県北部地震】
（長野県小谷村）

【H25.9 台風第18号】
（京都府福知山市）

【H25.10 台風第26号】
（東京都大島町）
緊急災害対策派遣隊（TEC－FORCE）の隊員数

TEC－FORCE隊員は全国の地方整備局を主体に任命されており災害の規模によっては全国から集結
※ほか、国土交通省本省、地方運輸局等、国土技術政策総合研究所、気象庁、国土地理院から構成されており、専門性を活かした調査、技術指導等による自治体支援を実施

TEC－FORCE 登録隊員構成
※平成27年5月1日現在 計7,508名
（国土地理院、気象庁は事前任命がないため、グラフに含まれない。）

日本全国の地図に地域ごとの隊員数を示す。
国土交通省の災害対策用機材の配備状況

大規模な災害には全国の機材が集結し支援を行います。

▼平成27年4月1日現在

<table>
<thead>
<tr>
<th>地整名</th>
<th>排水ポンプ車</th>
<th>照明車</th>
<th>対策本部車</th>
<th>待機支援車</th>
<th>遠隔操作式バックホウ</th>
<th>衛星通信車</th>
<th>Ku-SAT</th>
<th>災害対策用ヘリコプター</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>27</td>
<td>15</td>
<td>8</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>4</td>
<td>14</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>東北</td>
<td>45</td>
<td>29</td>
<td>10</td>
<td>2</td>
<td>4</td>
<td>19</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>関東</td>
<td>41</td>
<td>41</td>
<td>25</td>
<td>2</td>
<td>9</td>
<td>29</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>北陸</td>
<td>39</td>
<td>37</td>
<td>11</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>20</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>中部</td>
<td>36</td>
<td>34</td>
<td>15</td>
<td>2</td>
<td>6</td>
<td>17</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>近畿</td>
<td>32</td>
<td>27</td>
<td>17</td>
<td>1</td>
<td>7</td>
<td>21</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>中国</td>
<td>33</td>
<td>24</td>
<td>6</td>
<td>1</td>
<td>5</td>
<td>16</td>
<td>1</td>
<td>ヘリは四国・中国地整とで共同管理</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>四国</td>
<td>33</td>
<td>28</td>
<td>11</td>
<td>2</td>
<td>5</td>
<td>8</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>九州</td>
<td>60</td>
<td>24</td>
<td>9</td>
<td>1</td>
<td>4</td>
<td>16</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>沖縄</td>
<td>1</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>6</td>
<td>0</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>347</td>
<td>262</td>
<td>113</td>
<td>15</td>
<td>49</td>
<td>166</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

■排水ポンプ車
■照明車
■対策本部車
■衛星通信車
■Ku-SAT（小型衛星画像伝送装置）

【H26.8 広島市災害】
（広島県広島市）
【H26.8 台風第12号・11号】
（山口県和木町）
【H26.8 広島市災害】
（広島県広島市）
【H26.11 長野県北部災害】
（長野県白馬村）
【H26.9 御嶽山の噴火】
（長野県王滝村）

その他の機材
土地のう造過機、応急組立橋、散水車、橋梁点検車、側溝清掃車、路面清掃車など
災害規模に応じた支援の仕組み

中小規模の災害発生時

TEC-FORCE派遣による支援

被災自治体からの直接要請時

河川国道事務所等（災害対策本部）

大規模災害発生時

大規模災害時

国土交通本省（災害対策本部）

支援地方整備局（応援対策本部）

河川国道事務所等（応援対策本部）

TEC-FORCE広域派遣を指示

＊被災自治体からの要請が無い場合も、災害状況から判断し支援する場合があります。
平成23年3月に発生した東日本大震災では、国土交通大臣の指示の下、震災発生の翌日には各地方整備局から約400名のTEC-FORCE隊員を現地に派遣。
最大500名を超える隊員が、余震が続き、雪の積もる中で排水ポンプ車による排水活動、市町村リエゾンによる自治体支援、道路・堤防の被災状況の把握等を実施。

- TEC-FORCE：のべ18,115人・日（3/11〜11/21）
- 災害対策用機械（排水ポンプ車、衛星通信車等）：発災後1ヶ月間でのべ5,760台・日を派遣

早急にヘリコプターを発進させ、貴重な映像等を入手
排水ポンプ車による行方不明者捜索活動の支援
市町村長の片腕となる職員を派遣し技術的支援を実施
衛星通信車による途絶した通信回線の確保

出動人数
延べ18,115人日

2,414人日
1,152人日
1,727人日
1,438人日
085人日

823人日

2,704人日
2,916人日
1,227人日
東日本大震災：発災後1ヶ月間におけるTEC-FORCEの活動状況

1. 【発災当日】計62名
   ・市町村等に43名を派遣
   ・ヘリ3機が現地調査
（5機が東日本へ移動）

2. 【発災翌日】計397名
   ・市町村等に111名派遣（以降継続）
   ・被災状況調査のため247名を派遣
   ・通信確保のため
   衛星通信局3台、4名を派遣 等

3. 【3日後】計511名【4日後】計521名
   ・被災状況調査のため323名に派遣を増強
   ・被災地の通信確保のため衛星通信局8台、9名に増強
   ・被災市町村のニーズをもとに救援物資の調達を開始

4. 【発災後1ヶ月間】延べ9,749名
   ・被災状況を踏まえ、応急復旧、自治体支援、
   災害対策機械操作等の部隊を派遣

【全国の地方整備局からの派遣状況】

<table>
<thead>
<tr>
<th>出動数</th>
<th>延べ出動数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>TEC-FORCE隊員</td>
<td>1,742</td>
</tr>
<tr>
<td>ヘリコプター</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>衛星通信車</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>可搬式衛星通信局</td>
<td>16</td>
</tr>
<tr>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>照明車</td>
<td>67</td>
</tr>
<tr>
<td>対策本部車等</td>
<td>58</td>
</tr>
</tbody>
</table>

東北地方の災対本部等の指揮下で活動

資料：国土交通省

北陸地整後整地での排水ポンプ車

注：1. 延べ出動数の単位は人日、台日。注2：応急復旧はTEC-FORCE、東北地方整備局職員、地元及び各地の建設業者が実施。
H23年9月: 台風第12号災害への派遣

○国土交通大臣の指示の下、発災直後から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として専門知識を有する職員の派遣や災害対策用資機材の広域運用を開始。
○発災後ほぼ1ヶ月の間にのべ4,300人・日を超える体制で、被災した三重県、奈良県、和歌山県において、被災状況調査、現地対策本部（自治体）の運営支援、大規模な土砂災害等に対する高度技術支援、応急対策・被害拡大防止（排水ポンプ車等災害対策用機械の設置等）を実施。
H24年7月：九州北部豪雨災害への派遣

- 全国の方整局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。
  - TEC-FORCE：最大150人派遣（7月15日）、のべ1,035人・日派遣（7/12〜8/10）
  - 災害対策用機械（照明車、衛星通信車等）：最大121台派遣（7/15）、のべ1,222台・日派遣（7/3〜8/10）

出動人数（延べ人数）計1,035人・日

日田市災害対策本部におけるリエゾンの活動状況

排水分ポンプ車による排水作業

大分県日田市

福岡県柳川市

今後の警戒避難体制等に関する
地元自治体への技術指導状況

道路復旧のための被災状況の把握

大分県竹田市

福岡県阿蘇市

行方不明者の捜索のための
自衛隊・警察等への技術指導状況

衛星通信車による
沖縄県復旧状況の中継

福岡県へ映像提供

九州地図

福岡県庁（35人・日）
久留米市（3人・日）
筑後市（8人・日）
柳川市（44人・日）
みやま市（6人・日）
山鹿市（3人・日）
菊池市（8人・日）
熊本県庁（32人・日）
熊本市（14人・日）
人吉市（2人・日）
五木村（2人・日）
H25年7月：山口・島根豪雨災害への派遣

全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

- TEC-FORCE：最大205人派遣（8月5日）、のべ2,011人・日派遣（7/29～8/24）
- 災害対策用機械（照明車、衛星通信車等）：最大15台派遣（7/29、8/5）、のべ148台・日派遣（7/28～8/27）

主な派遣先

- 防災ヘリコプターによる（緊急）被害状況の把握
- 土砂災害の状況把握に向かう隊員
- リエゾン派遣、被災情報・支援ニーズ等の把握
- 緊急排水のため排水ポンプ車の出動
- 早期の災害復旧に向けた状況把握
- 孤立集落解消に向けた土砂撤去

TEC-FORCE派遣者数

（リエゾンを含む）

- 延べ2,011人・日（7/29～8/24）

西日本の地方整備局4地整より派遣、また、8/5より随時から2人・日派遣。
H25年9月: 台風第18号等による京都府や福井県及び滋賀県への派遣

全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

- TEC-FORCE: 最大157名派遣 (9月20日)、のべ1,179名・日派遣 (9/15〜10/8)
- 災害対策用機械 (排水ポンプ車、照明車等): 最大33台派遣 (9/16)、のべ264台・日派遣 (9/16〜10/7)

TEC-FORCEの派遣状況

京都府舞鶴市
福井県小浜市
滋賀県高島市

京都府福知山市

京都府綾部市

滋賀県粟東市

京都府南山城村

《主な派遣先》

状況把握箇所

被災状況・要請内容等の把握
（小浜土木事務所）

早期復旧に向けた状況把握
（舞鶴市境谷橋）

排水ポンプ車による緊急排水
（福知山市荒河地先）
H25年10月: 台風第26号により被害を受けた大島町への派遣

全国の地方整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援等を実施。

- **TEC-FORCE**: 最大87人派遣 (10月18日)、のべ1,265人・日派遣 (10/16〜11/15)
- 災害対策用機械(照明車、衛星通信車等): 最大17台派遣 (10/22〜11/3)のべ443台・日派遣 (10/16〜11/14)

太田国土交通大臣によるTEC-FORCEへの指示

大島支所

大島町役場

《主な状況把握箇所》

元町長沢

《主な状況把握箇所》

元町大金沢

被災現場での監視カメラの設置

早期復旧に向けた被災箇所の把握

救助・救援、復旧支援のための照明車派遣

砂防ダム機能状況の確認

土石流況状況の把握

国土交通省リエゾンと大島町職員との現地対応に係る調整
H26年2月：豪雪による山梨県や群馬県及び埼玉県等への派遣

政府現地対策本部（山梨県庁）開催状況

「大雪に伴う通行止め路線箇所図」
（2月18日12:00現在）

TEC-FORCEの派遣状況

境内

地域

関東地整

北陸地整

関東地整TEC-FORCEによる救援物資（燃料）輸送支援
（山梨県富士吉田市）

【山梨県支援】
孤立解消へ向けた除雪状況

効率的な除雪へ向けた状況把握
（中部地方整備局TEC-FORCE）

県道河口湖精進線除雪状況
（富士河口湖町）

通行止め区間
地方自治体管理道路の除雪支援箇所

高密度な除排雪技術を有する北陸・中部地方整備局等から特に被害の大きかった山梨県や群馬県及び埼玉県等へTEC-FORCE及び除雪用機械を派遣し、早期の道路交通確保や雪崩等による二次災害防止のための技術支援等を実施。

➢ TEC-FORCE：最大40人派遣（2/25）、のべ360人・日派遣（2/15～3/6）
➢ 除雪用機械（ロータリー除雪車、除雪ドーザ等）：最大27台派遣（2/20）、のべ227台・日派遣（2/16～3/13）
H26年8月：豪雨により被害を受けた広島市への派遣

○8月19日からの大雨を受けて、広島市では166件の土砂災害（土石流107件、がれ崩れ59件）が発生し、安佐南区と安佐北区では、多数の住宅が飲み込まれ甚大な人的被害（死者74名：9月19日17時現在）が発生。
○災害発生直後から、広島県及び広島市へリエリゾンを派遣。また、災害対策用ヘリコプターによる上空からの被害状況把握を実施。
○全国の地点整備局等からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、(1) 土砂災害危険箇所の評価・捜索活動の支援、(2) 早期復旧のための支援、(3) 二次災害防止のための支援を実施。
   ➢ TEC-FORCE：最大122人派遣（8月28日）、のべ2,431人・日派遣（8/20～9/23）
   ➢ 災害対策用機械（照明柵、衛星通信車等）：最大18台派遣（9月4～5日）、のべ約590台・日派遣（8/20～10/30現在）

派遣元別派遣人数（のべ人数）

- 国土交通省: 137人/日
- 九州地権: 242人/日
- 四国地権: 262人/日
- 近畿地権: 242人/日
- 中部地権: 270人/日
- 北陸地権: 147人/日
- のべ2,431人・日（8/20～9/23）
H26年11月：長野県北部を震源とする地震への派遣

○11月22日2時8分頃、長野県北部を震源に発生した地震（最大震度6弱）により、多数の住宅被害（全壊77棟、半壊136棟、一部破損1,624棟）が発生。
○災害発生直後から、長野県及び長野市、白馬村、小谷村等へリエゾンを派遣。また、災害対策用ヘリコプターによる上空からの被害状況把握を実施。
○関東地方整備局及び北陸地方整備局からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、（1）被災箇所の状況把握、（2）早期復旧のための支援、（3）被災箇所の監視支援を実施。

➢ TEC-FORCE：最大77人派遣（11月27日）、のべ589人・日派遣（11/22〜12/10）
➢ 災害対策用機械（照明車、衛星通信車等）：最大20台派遣（11月24〜25日）、のべ216台・日派遣（8/23〜12/16）
TEC-FORCEの派遣実績

平成20年度以降、平成26年度末までに東日本大震災をはじめ49の災害に対し、のべ約4万人・日の地方整備局職員等により被災地支援を実施。

派遣回数（回）

派遣隊員数（人）

平成26年度末時点
派遣総数 8,332人
のべ 39,088人・日

派 勤年度

平成20年度
平成21年度
平成22年度
平成23年度
平成24年度
平成25年度
平成26年度

派遣回数
派遣隊員数

5回
4回
3回
4回
7回
16回
10回

568人
238人
131人

428人
1,565人
1,620人
Table: TEC-FORCEの派遣実績 (H20～H23)

<table>
<thead>
<tr>
<th>平成20年度派遣総数</th>
<th>568人</th>
<th>のべ</th>
<th>1,894人・日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>408</td>
<td>147</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>1,499</td>
<td>381</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>117</td>
<td>92</td>
<td>23</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>954</td>
<td>249</td>
<td>41</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>22(6)</td>
<td>35(0)</td>
<td>74(9)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>69(8)</td>
<td>81(0)</td>
<td>299(15)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>2,882(1,836)</td>
<td>131(38)</td>
<td>732(410)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>18,115(12,898)</td>
<td>262(107)</td>
<td>5,186(2,872)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※( )内の数値は内書きで、被災地地方整備局以外からの派遣者数を表します。
### TEC—FORCEの派遣実績 (H24 ～ H25)

#### 平成24年度派遣総数 428人 のべ 1,307人・日

<table>
<thead>
<tr>
<th>派遣機関</th>
<th>H24.4 米倉川市地すべり</th>
<th>H24.4 三条市地すべり</th>
<th>H24.4 佐賀県災害</th>
<th>H24.6 の台風第4号 (宮城・三重・奈良・和歌山県)</th>
<th>H24.6 東北地方前線 (福島、大分、熊本県)</th>
<th>H24.7 九州北部豪雨 (福岡、大分、熊本県)</th>
<th>H24.8 前線 (京都府、滋賀県)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣人員数 (人)</td>
<td>5(0)</td>
<td>4(0)</td>
<td>20(0)</td>
<td>18(0)</td>
<td>19(0)</td>
<td>326(85)</td>
<td>36(0)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣総人員数 (人・日)</td>
<td>6(0)</td>
<td>4(0)</td>
<td>34(0)</td>
<td>20(0)</td>
<td>64(0)</td>
<td>1,035(404)</td>
<td>144(0)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 平成25年度派遣総数 1,565人 のべ 6,137人・日

<table>
<thead>
<tr>
<th>派遣機関</th>
<th>H25.4.13 淡路島地震</th>
<th>H25.4.17 三宅島近海地震</th>
<th>H25.4.23 浜松市の地すべり</th>
<th>H25.7.6 福岡県警庁</th>
<th>H25.7.10 静岡県警察</th>
<th>H25.7.27～H25.7.28 山口県警察</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣人員数 (人)</td>
<td>14(3)</td>
<td>7(0)</td>
<td>65(0)</td>
<td>2(0)</td>
<td>39(0)</td>
<td>9(0)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣総人員数 (人・日)</td>
<td>14(3)</td>
<td>7(0)</td>
<td>89(0)</td>
<td>2(0)</td>
<td>53(0)</td>
<td>11(0)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>派遣機関</th>
<th>H25.8.9～H25.8.23 岩手県秋田県</th>
<th>H25.8.23 岩手県</th>
<th>台風第18号 東京大島町</th>
<th>台風第26号 東京都大島町</th>
<th>台風第27号 大分、愛媛、德島、京都、静岡、など</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣人員数 (人)</td>
<td>54(0)</td>
<td>150(36)</td>
<td>277(146)</td>
<td>329(129)</td>
<td>26(0)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣総人員数 (人・日)</td>
<td>66(0)</td>
<td>808(245)</td>
<td>1,237(832)</td>
<td>1,309(669)</td>
<td>27(0)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>派遣機関</th>
<th>H25.11.07 秋田市突風</th>
<th>H25.11.21～H25.11.25 秋田県由利本荘市道路工事事故</th>
<th>H26.1.26～H26.1.29 北海道福島町道道路砂崩れ</th>
<th>H26.01.26～H26.01.29 北海道東北・関東甲信越等雪害</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣人員数 (人)</td>
<td>4(0)</td>
<td>40(0)</td>
<td>16(0)</td>
<td>175(79)</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣総人員数 (人・日)</td>
<td>5(0)</td>
<td>55(0)</td>
<td>16(0)</td>
<td>427(280)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※（ ）内の数値は内書きで、被災地方整備局以外からの派遣者数を表します。
### TEC FORCEの派遣実績（H26）

**平成26年度派遣総数** 1,620人 のべ4,405人・日

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>H26.6前線等高知県宮崎県</th>
<th>台風第8号及び梅雨前線長野県南木曽町など</th>
<th>台風第12号及び第11号の大雨等</th>
<th>H26.8月16日から続く大雨北海道礼文町、京都府福知山、兵庫県丹波市、岐阜県高山市など</th>
<th>H26.8広島県広島市の土砂災害</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>10（0）</td>
<td>137（0）</td>
<td>313（2）</td>
<td>158（9）</td>
<td>439（196）</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>19（0）</td>
<td>187（0）</td>
<td>356（2）</td>
<td>378（27）</td>
<td>2,431（1,141）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>御嶽山の噴火</th>
<th>台風第18号</th>
<th>台風第19号</th>
<th>長野県北部を震源とする地震</th>
<th>H26.12.5〜徳島県雪害</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>派遣隊員数（人）</td>
<td>179（0）</td>
<td>44（0）</td>
<td>62（0）</td>
<td>242（0）</td>
<td>36（0）</td>
</tr>
<tr>
<td>派遣隊員の活動員数（のべ 人・日）</td>
<td>274（0）</td>
<td>49（0）</td>
<td>88（0）</td>
<td>589（0）</td>
<td>34（0）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※（ ）内の数値は内書きで、被災地方整備局以外からの派遣者数を表します。
<table>
<thead>
<tr>
<th>所属</th>
<th>機械名</th>
<th>規格</th>
<th>機械番号</th>
<th>保管場所</th>
<th>乗車人員</th>
<th>K-COSMOS</th>
<th>設置作業エリア</th>
<th>最低人員</th>
<th>仕様等</th>
<th>発電機</th>
<th>アンカ</th>
<th>防災課</th>
<th>免許</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>岩手県道路維持所</td>
<td>対策本部車</td>
<td>拡幅型</td>
<td>10-4280</td>
<td>730-231-13</td>
<td>3</td>
<td>5.5×8m</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>アクリルを張るため平水なスペースが必要</td>
<td>13KVA</td>
<td>200L</td>
<td>24h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手県道路維持所</td>
<td>待機支援車</td>
<td>バス型</td>
<td>19-4280</td>
<td>730-231-18</td>
<td>10</td>
<td>2×9m</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>仮眠用ベッド　上下2段　8人</td>
<td>5KVA</td>
<td>60L</td>
<td>84h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手県道路維持所</td>
<td>衛星通信車</td>
<td>衛星通信装置付</td>
<td>A-C2501</td>
<td>730-282-82</td>
<td>5</td>
<td>2×5m</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>通信回線4回線（通信2、FAX1、画像1）</td>
<td>14KVA</td>
<td>66L</td>
<td>72h</td>
<td>普通</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>30㎥/分</td>
<td>25-4251</td>
<td>730-231-57</td>
<td>2</td>
<td>5×20m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>7.5㎥/分×4台（37kg/台）</td>
<td>125KVA</td>
<td>280L</td>
<td>10h</td>
<td>中型</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>30㎥/分</td>
<td>25-4255</td>
<td>730-231-15</td>
<td>2</td>
<td>6×45m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>5㎥/分×12台（35kg/台）</td>
<td>300KVA</td>
<td>490L</td>
<td>10h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>水沢出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>30㎥/分</td>
<td>25-4254</td>
<td>730-231-17</td>
<td>2</td>
<td>6×45m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>5㎥/分×12台（35kg/台）</td>
<td>300KVA</td>
<td>490L</td>
<td>10h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>一関出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>30㎥/分</td>
<td>10-4242</td>
<td>730-231-16</td>
<td>2</td>
<td>5×20m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>6㎥/分×5台（120kg/台）</td>
<td>100KVA</td>
<td>300L</td>
<td>10h</td>
<td>中型</td>
</tr>
<tr>
<td>一関出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>60㎥/分</td>
<td>10-4263</td>
<td>730-231-28</td>
<td>2</td>
<td>5.5×35m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>30㎥/分×2台（800kg/台）</td>
<td>170KVA</td>
<td>600L</td>
<td>12h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>一関出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>60㎥/分</td>
<td>12-4240</td>
<td>730-231-27</td>
<td>2</td>
<td>5×35m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>30㎥/分×2台（800kg/台）</td>
<td>170KVA</td>
<td>600L</td>
<td>12h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>一関出張所</td>
<td>排水ポンプ車</td>
<td>30㎥/分</td>
<td>22-4280</td>
<td>730-231-25</td>
<td>2</td>
<td>6×45m</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>5㎥/分×12台（30kg/台）</td>
<td>300KVA</td>
<td>490L</td>
<td>9h</td>
<td>大型</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手県道路維持所</td>
<td>照明車</td>
<td>2kw×6灯</td>
<td>10-1280</td>
<td>730-231-56</td>
<td>2</td>
<td>3.5×7m</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>曲折ブーム式</td>
<td>20KVA</td>
<td>110L</td>
<td>26h</td>
<td>中型</td>
</tr>
<tr>
<td>水沢出張所</td>
<td>照明車</td>
<td>2kw×6灯</td>
<td>11-4281</td>
<td>730-231-26</td>
<td>2</td>
<td>2.5×5m</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>伸縮ボーム式</td>
<td>20KVA</td>
<td>70L</td>
<td>20h</td>
<td>中型</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手出張所</td>
<td>照明車</td>
<td>2kw×6灯</td>
<td>20-4282</td>
<td>730-231-26</td>
<td>2</td>
<td>3.5×7m</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>曲折ブーム式</td>
<td>20KVA</td>
<td>110L</td>
<td>26h</td>
<td>中型</td>
</tr>
<tr>
<td>一関出張所</td>
<td>遠隔操作式圧力ショベル</td>
<td>0.5m³</td>
<td>A-C2101</td>
<td>1</td>
<td>長7590mm</td>
<td>1</td>
<td>伸縮ボーム式</td>
<td>247L</td>
<td>20KVA</td>
<td>110L</td>
<td>26h</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

*建設機械*